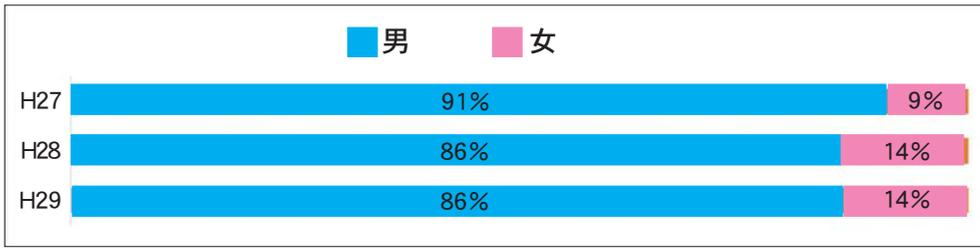


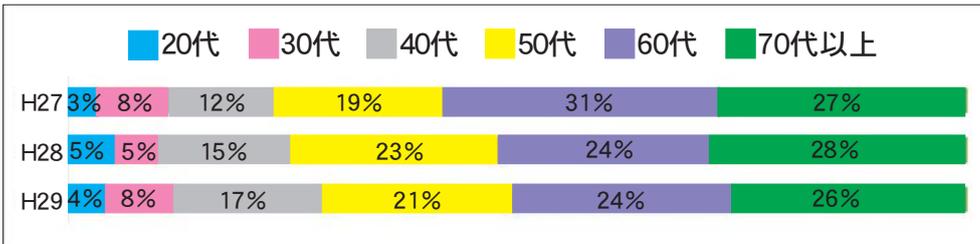
市長と語るろう地域懇談会

アンケート調査結果

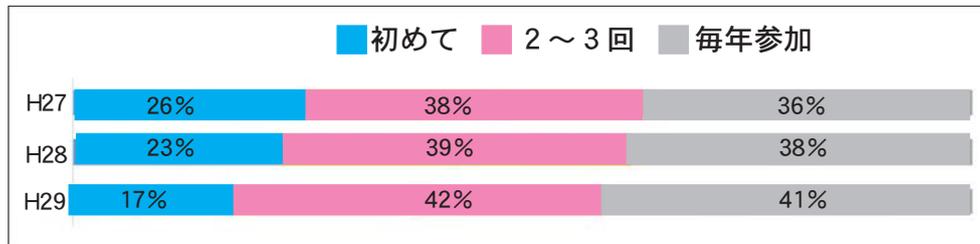
男女別参加者の割合



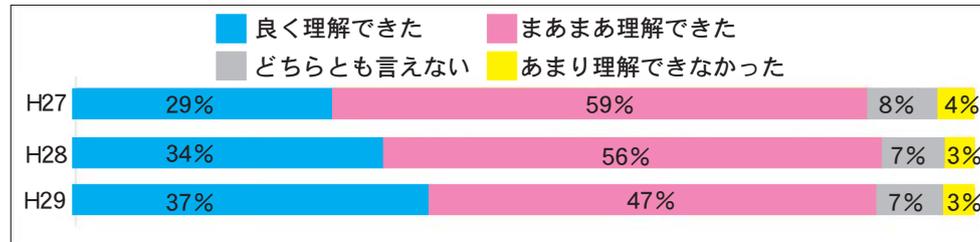
年齢別参加者の割合



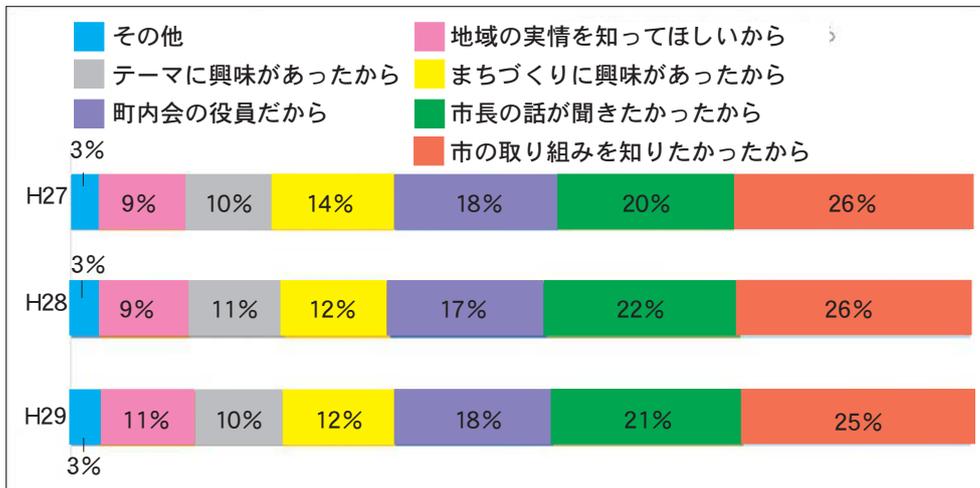
参加回数別参加者の割合



資料や説明に対する理解について



懇談会参加のきっかけについて



アンケートにおける 意見・提言・地域要望など (自由意見)

北の峰コミュニティセンター

【北の峰町・学田三区・御料】

◆これだけ鉄路の問題が提案されてきているが、市のJRの専門課は設けているのか。動きが遅くないか。この懇談会にJRの職員の参加があるのか。JRを利用して重荷物を持つての移動は大変である。エレベーターより、エスカレーターを設置してほしい(早い動きがほしい)。

富良野線は過去の西武鉄道の話もあったが、モノレール活用を一考しても良いのではないか。今さらであるが大学を設置する考えはないのか。◆JR利用者増進について、人口減を考えると市民に求めるのは難しい。観光客の利用増に特化するのが良い。◆このような懇談会をぜひ続けてください。ありがとうございます。前居住地千葉県松戸市、柏市は行政が遠い存在でした。太いパイプは鉄道、細いパイプはバス(マイカー)ですね。

◆これから観光客を500万人にする計画がある中で、鉄路が無くなる

ことは富良野にとって非常にマイナスになると思います。中国人が間違いない増えます。彼らは車を日本でも運転できません。

◆鉄路のあり方について、「西聖和旭川間を廃止して、北美瑛旭川空港旭川間に鉄路の付け替えを実施。鉄路をIOCに売却して、北海道新幹線を旭川まで延伸させる」という構想が画期的でした。実現できたら本当にすばらしいと感じました。

◆活力あるまちづくりには「尽力をお願いいたします。」

◆赤字だから廃止ということは間違っていると思います。住人が必要である以上、あらゆる対策を考えていただきたい。富良野市の良い所を前面に出して廃止をしないでほしい。

◆意見や要望が多岐にわたって聞くことができて良かった。

文化会館はバリアフリーにしてほしい。車椅子の人が入ることは不可なため。

◆JRの時代の役割については、他の交通機関の利用が増えている状況から、インシャルコストの維持費、

ランニングコストで方向が見えてくるだろう。

◆国の責任において解決すべき。地方の鉄路を守る必要がある。高齢化を迎える時代で利用増は困難ではあるが守るべきである。農作物輸送手段の鉄路である。

◆市民で鉄路を利用していくしかないと思います。観光客にも乗ってもらえるようにJRや旅行代理店にPRグッズを提供したり、補助するのもありだと思います。

◆子どもが安全に通学ができる。親が安心して送り出せる。安心して待っていられる。

通学本数が多くなるなら、バスでも良い。どちらにしろ冬道が心配。

末広コミュニティセンター

【末広町・弥生町・若松町】

◆赤字路線は切り捨てるべきだ。

◆市の取り組みが分かって良かった。全体の項目について、コンパクトにまとめてあるのもっと見やすいし理解できると思う。

西地区コミュニティセンター

【桂木町・新富町・西町・北斗町・学田三区・清水山・島ノ下】

◆防災訓練でも具体的にやってほしい。10時に集まるのに何分集合場所に着くのかなど。

◆状況を理解できた。できることは

実施したい。

◆営業係数を強調して説明すると、JRは私企業なので、廃止判断はやむなしとしかならない。市長は原点を大切に発言していたので、国鉄の分割・民営化の是非まで踏み込んで議論して進めていくべきではないか(当初から赤字になるのが分かっていたので、安定基金を積んだ分割・民営化のとき、ローカル線は無くさないと新聞広告も出ていた。麻生大臣の発言もある)。

◆市として若者、バカ者の活用を。

栄町コミュニティセンター

【栄町・若葉町・幸町】

◆JRの利用者として日々感じていたのは、JR北海道は利用促進の努力もせず、サービス向上の意識も薄い。その割に廃線をちらつかせ、市町村に負担を迫るのは不条理な話だと思つ。夏は観光客、冬は安全のためなど、まだ伸びる可能性のある部分で利用しやすさ快適さを向上させ、まずはJR北海道の営業努力も見せてほしいものだ。資料の輸送密度のグラフで、昭和55年から昭和60年の5年間の著しい減少の要因は何ですか。

◆利用したくなるようなJRにする必要がある。安全性、利便性など。

バス転換もやむを得ないと判断した場合の対応策を早急に検討。バス運転手の確保。環境対策。交通網の整備など。

◆富良野沿線の各市町村と話し合い、スクラムを組んで国、道、JRを動かす。各自自治体でできる駅舎の維持目標。

朝日会館

【朝日町・本町・日の出町】

◆まず、JRの努力を要望したいと思えます。本州の方では、民営化以降に黒字となった例があるようなので、ノックアウトやスクリーン以外にも、さまざまなアイデアを募集するように努力してほしいです。

◆地域の方の意見を聞くことができ良かった。

◆実家が新得なので、できるだけ早く自動車でもバスでも決定してほしい（私としてはバスを希望します）。

◆年をとると階段が大変。滝川の乗り換えも大変で上り下りがきつい。冬のバスは、時に不通となり、汽車に乗るときがあるので、JRの廃止はみんなが困るのではないかと。

◆バス転換へ。

◆高齢化にともない、富良野駅の階段はひどくきついです。特にキャリーバックなどを持ちながら降り降

りするのは大変で、先日利用したときも（富良野〜旭川間）降りるのに苦労してしまい、若い方が助けてくれました。エレベーターはほしいです。

老いると車は手放すので、今後はもっと利用する（富良野〜旭川間は残してほしいです）。

ふらつこの後ろ側は、このごろゴミが散らばり、植え込みは草だらけ、木は伸び放題で見苦しいです。数年前まできれいでした。

今年も中通りの除雪をよろしくお願い致します。

◆富良野を取り巻くJR路線のどれかでも廃止になると、人の流れも変わる可能性があると思います。中心市街地活性化事業で整備されたまちなかですが、人の流れの変化に対応できるのか危惧してしまいます。

◆是非平成32年までに、市役所本庁舎と文化会館の複合施設を現在地で改築して欲しいです。

布部会館

【布部・扇山・五区全地域】

◆布部地区の人口減少は、多くのことに影響が出てくることが理解できたと。

◆公共交通であり国の考え方は。

◆有る物を利用する。それを活かすのか、無駄金になるのかです。物や金にはそれ自身には価値は無いので。

◆交通弱者をはじめ、高齢者を助けてください。

瑞穂コミュニティセンター

【花園町・錦町・新光町・住吉町・瑞穂町・東雲町】

◆鉄路のあり方について、今日の懇談会で問題は整理できましたが、地域住民の判断を仰ぎたいということですが、地域住民が判断するための判断材料を明確にわかりやすく提示してもらいたいです。

鉄路を維持、またはバスのみとする案（それ以外の方法はないのか）。それらを選択した場合のメリット、デメリットや公開議論を行なった上で、最終的には住民投票をやるなど、住民意識を高めていただきたいです。

また、駅のホームへ行くときに、今のままではベビーカーで行くことができません。近くの駅員に手伝いの協力を頼んでも、簡単に断られました。もっと利用しやすさを考えるべきではないでしょうか。

◆鉄路のあり方については、JR北海道の報道発表をきっかけとして、もう一度鉄路の役割、廃止となった場合の影響、バスなどの交通機関への転換が現実的に可能であるかといった点を、市民に対して具体的かつ明確に周知し再考してもらうことが重要でないかと感じます。その上

で、鉄路の維持には何らかの付加価値が必要だと思えます。丁寧な接客や案内表示、バリアフリーや清潔さなどの環境、またはチケットの提示で沿線飲食店の料金が安くなるなどの特典といった乗るのが楽しみになる仕掛けがあれば、仮に運賃が高くなってもお客さんは利用するのではないのでしょうか。懇談会の中でお話があったように、一度廃止となれば二度と戻ることはないということは重大な問題であり、廃止の場合には交通弱者の増加、農作物の値上がり、他の交通機関が混雑し利用者が利用しづらくなるなど、さまざまな影響が出ると思いますので、自治体による費用負担は困難であっても、住民の声をもとに市としてアイデアを提示していくことで北海道の風景の一つである鉄路の存続を願います。

◆市民の意見を感じることができた。

◆庁舎の改築はいっ。

◆市庁舎の建替えについては、市民の意見（ワークショップ）などを取り入れて、十分な意見を反映させた庁舎としてください。中高校生の意見を取り入れると、将来Uターンなども増える要素があると思います。

◆市民がまず利用することが路線を残すことにつながる。利用促進を図るべき。

◆時代の流れもあるだろうし、仕方がないのでは。

駅から駅は不便。停留所の多いバスに転換し、JRは貨物のみで良い観光で需要があるなら、臨時運行するのも良いと思う。

◆上下分離方式考えてみてはどうですか。ヨーロッパでは成功しているようです。コンパクトシティ構想はないですか。

◆この会場に集まった人の中に、どれくらいJRを利用している人がいるのだろうか。若い人や車で移動している人たちは、JRが無くなる不安はわからないだろう。バスは目的の終点に15分は遅れるが、JRの遅れはほとんどない。乗り継ぎの不安を持ってバスに乗っていることを知っている人は、この会場の中に何人がいるだろう。

◆荷物の長距離輸送や観光バスの長距離移動を制限（法律）すべき。

麻町児童センター

【麻町全地域】

◆まちづくりについて、何年経っても富良野市には未婚女性との出会いの場所がぜんぜんなくて、イベントもやってくれない。未婚女性との出会いのイベントをたくさんやってほしい。何も変わらなくても毎年年齢は上がるの。

◆麓郷地区での要望は、当該地区の懇談会で要望するよう調整する（時間にロスがでる）。

◆JRと沿線市町村の話し合いを。

◆営業係数を見る限り、このままでは無くなってしまうのは見え見えと感じます。自分自身、この数年1度もJRを利用していないのだから、イベントを考えても大きく変えられない。

◆富良野く旭川は残していただきたい。

鳥沼会館

【鳥沼・大沼全地域】

◆農業と観光を両輪としたまちづくりの推進。

布礼別集落センター

【布礼別・富丘・八幡丘全地域】

◆過疎の方から言ってもインパクトはないけれど、鉄道は国の仕事だと思えます。

◆ふらつと周辺の駐車場整備。

◆これからの乗客の増は、なかなか望めないと思います。北海道は專業農家がほとんどであり、1次産業の多い土地として農作物の移出の手段の確保として残していく方向でお願いしたい。

酪農の糞尿処理としてはなく、発酵肥料としての散布の技術の導入をめざし、普及させることが大切。

山部福祉センター

【山部全地域】

◆農作物輸送に必要である。

◆市の縦割り行政感が強いので、各部各課の横割連絡方策の確立をしてほしい。

◆発言はできませんでしたが、私の妹が専門学生として旭川への通学でJRを利用しています。富良野の人口を守るということでもJRは残してほしいと思います。もし無かったら、旭川の学校のために富良野を出て旭川に行ってしまうからです。意見の中にもありましたが、本数を増やせないのであれば、実際によく利用している人の声に寄りそったダイヤを考え直してほしいです。乗らなくてもお金を出しても良いと思えるようなサービスを考え、市民はもちろんですが、富良野線、根室本線に興味を持ってくれる人、道内、道外に寄付金を募ったり、「商業高校の授業をからめて、クラウドファンディングを通して守ろう」という取り組みはできないでしょうか。

乗って守るのはもちろんですが、人を集める方法もあると思いました。乗って守るのもいろいろ企業、団体に呼びかけていかないと守れないと思います。自分自身が車を運転できなくなったときに、公共交通がなかったら困ってしまうので、これからは意識して利用していきたいと思いました。

◆年齢に関わらず、住みよいまち富

良野を期待します。

◆災害から1年、反省や方針を形として提供をお願いしたいです。形として以前に、地域として出した意見への返答を受けたい記憶がありません。もう1年以上経っておりません。よろしくお願いします。

◆「鉄路存続」を前提として、行政と地域住民の方の意見を聞くことができて良かった。

JR富良野駅で、夏・冬に市民有志で荷物運びをする。ポップブリッジと駅舎間の連絡通路としてエスカレーターを設置する。

◆貨客混雑で運用できないだろう。運転の発想が必要。便を増やす。

◆まちづくりとして、子育てをテーマにしているのであれば、西松屋や赤ちゃん本舗などの大手の子ども服屋を誘致してほしい。そして、屋内アスレチックなどを店舗の隣に作って欲しい。雨天や雪で遊べないときも有用と思われる。もっと若い人が話を聞きたいと思えるよう、ご尽力いただきたい。

◆市民は鉄道を残してほしいと思っています。天命を待っているだけでは廃線になります。人事を尽くしていきましよう。市民もがんばり闘っていきます。

◆運転免許書返納者や60歳以上の方には、JR乗車券の割引を提案したい。私自身は冬期間に札幌、帯広、旭川へ出向くときは、JR山部駅に車を駐車してJRを利用しています。

◆昨年の台風により、富良野〜新得間の便が減便され、夜10時10分ごろに山部に到着する便（富良野発午前9時55分ごろ）がなくなり、不便を感じています。

◆南富良野高校通学生や幾寅からの通学生のためにも富良野〜幾寅間は連絡バスを使わなくても良いよう、早急な鉄路修繕を要望します。

◆スキップ4の再発売を強く要望します（長期旅行する場合、札幌〜富良野往復スキップでは乗車不可。片道バス利用も不可。特に札幌発の午前中のJRが不便）。

◆JR北海道の赤字の原因は、経営安定基金の運用益減が原因であることがはっきりしているため、北海道が一丸となって、株主の国に対して要求すべき。

◆そもそも、北海道新幹線が来るのが決まっているのに、JR札幌駅の改築時に、新幹線のホームを考えていないというお粗末で明らかによろしく、JR北海道の姿勢に驚いています。

◆列車乗員（平均11人）などから現在の列車を小さくしたら（25人くらい）、経費が削減されるのではない

かと思えます。荷物輸送で利益を上げなければならぬと思います。

麓郷集落センター

【麓郷全地域】

◆鉄路は必要だと思えますが、バスに比べ接続が悪く利用しづらい印象です。値段はそのまま（上がったとしても）、接続は良くしてほしいです。

市長と話す機会があるのとはとても良い機会なので、今後も行ってみよう。

◆自家用車の利用により、鉄路利用は一年のうちほとんどありません。利用なきものは無くなるという前提で考えますと、サポーター的な資金集めも一つの案であると思います。年会費（乗らなくても）を払う気持ちのある方より、いだけ。その際に会員については数回分乗車できるシステムがあれば、「乗ってみる」機会を得る人が増加する可能性もある。一年のうち一度も乗らないよりは「一度でも乗る機会をいっしょ」のはいかがでしょう。

◆赤字路線を残すことは、不可能に近いのではないかと感じた。ただし農作物を輸送するのは大切な手立て。それをなくすることはできないと思います。貨物専用としてはどうですか。

◆鉄路については今はじまった話ではないので、縮小しても仕方ない

思います。今、心配なのは新幹線が同じ道を歩み、同じ事態にならないか心配です。

◆どうしても守らなければならない路線であるかどうかが、重要だと思います。実質、利用するお客（市民）がないのであれば、違う方法で輸送しなければいけないし、考えていかなければならないと思います。

東山支所

【東山全地域】

◆ネットの光回線は、早急に対応してもらいたい。地域の末端まで届くように。

◆個人では無理と思います。地区内でまとめて意見をだしていきたい。

◆最低必要な鉄路は残してもらおう。かかる経費は上は住民、下は国が持つのが現実的方法。代替となる道は国に作ってもらい、維持経費のかからない安全な道路にしてほしい。農業予算については、個々の補償よりも共同利用の事業を最優先にすべき。

◆JRの経営安定基金運用の32年度におけるシヨートの説明を受け、危機感を覚えました。国民の大切なインフラの観点から強く国の関わりを求めながら、一体で努力をしたい。

◆鉄道は国が守って当たり前。

南コミュニティセンター

【扇町・緑町・南町】

◆鉄路のあり方について、残しても代替手段に切替えても厳しさは戻らない。

◆全く利用しない方の意見を聞いた方が良いと思う。逆説的意見も大事である。

東春地区コミュニティセンター

【春日町・東町】

◆若い人（おもに高校生）との懇談会も実施したらどうですか。

◆鉄路について、交通インフラとしては最早役目を終えているのではと多くの市民が思っていると思います。しかし、物流を含め「なくなったら生活にどんな影響が出るのか」が想像しきれいていません。市民を含め、官民一体となった「コンセンサスを作るためには、今以上に」という情報発信と議論が不可欠だと思います。